

TOPICS

美浜のイベント



「みはまのあかり」

開催期間：2018年12月8日（土）～  
2019年1月13日（日）

「みはまのあかり」は、このまちと暮らす人々、まちの未来を担う子どもたちを照らす光をつくりたいという想いから、町民有志が集まって運営するイベントです。



「みはま桜まつり」

開催期間：毎年3月下旬～4月上旬

美浜町総合公園には、ソメイヨシノなど約300本の桜が植わっており、桜の満開に合わせて夜桜ライトアップ、水野屋敷の一般開放、マルシェなどを予定しています。

えびせんべい

作監 フルバー マーカウリ



# みはまデイズ

mihama days

VOL. 05

海まで5分。美しい浜と里山のある生活。

TAKE FREE  
2018.Dec

## 暮らしに役立つアレコレ

### 結婚祝い金制度

みはま婚活推進室が実施する婚活支援事業に参加し、結婚されたカップルに1夫婦あたり10万円をお祝い金として支給します。支給条件は、婚活支援事業に参加した年度から3年以内に婚姻した夫婦で、婚姻届提出後、30日以内に夫婦で美浜町に同一世帯としての住民登録を行い、継続して1年以上居住した夫婦が対象となり、支給対象となった日から3カ月以内に申請が必要になります。



### 母子手帳アプリ「すくすくアプリ美浜」

母子手帳はママと赤ちゃんの健康管理に欠かせないものです。そんな母子手帳をスマートフォンやタブレット端末でも使えるアプリ「すくすくアプリ美浜」をスタートしました。アプリを使えばお子さんの発育を簡単に記録、グラフ化できるほか、寝返りやハイハイなどの「はじめてできた」を写真つきで記録することもできます。「子育てするなら美浜」と思ってもらえるまちづくりに向け、取り組んでいるところです。



### 新築及び中古住宅取得費補助金制度

子育て世帯への応援、本町への転入及び定住促進、居住環境の向上を目的とし、自己の居住の用に供するために町内に住宅を新築、若しくは新築住宅又は中古住宅を購入した方に対し補助をしています。新築住宅を建設した場合25万円、新築若しくは中古住宅を購入した場合20万円の補助をします。また町内事業者の関わりにより新築住宅を建設した場合や購入をした場合には、5万円が加算されます。その他に補助を受けられる方が限定されてくるため、ホームページ等を必ず確認してください。



悠久の  
風と時間と。

美浜を知りたい方

美浜町企画課  
電話：0569-82-1111  
(内線 232)

美浜に住みたい方

美浜町都市整備課  
\*住宅に関すること  
(内線 246)

美浜で働きたい方

美浜町産業課  
(内線 264)

## あなたの美浜暮らしを応援します

美浜町には今、空き家や休耕田などの“余白”がたくさんあります。あなたが住むことで、この地域をもっと魅力的にできるかもしれません。毎日を丁寧に過ごし、豊かな暮らしを実現してみませんか。美浜町への移住や二拠点生活、Uターン、滞在をお考えの方にご利用いただける様々な制度やコミュニティの紹介も行っています。

## みはまデイズ vol.5 編集後記

寒い季節がやってきました。こんな時は美浜の美味しい食材で鍋がいいですね。今回取材したマラニックには、主に町外から約260名が参加し、地元の私としては見慣れた景色が、参加者には新鮮だったようで、息子とボランティアで参加しましたが、みなさん豊かな自然と地域の方々の暖かさに喜んでいました。当たり前だと思っていることも外からは魅力と感じられることを心に留め、まちの魅力を発信していきます。また、町民の方から旬な情報や美浜で読むとい本や音楽などの情報提供もお待ちしております。



(M, M)



mihamadays.com



掲載情報については、2018年11月時点のものです。本冊子の記事及び写真などの無断複製・転載を禁じます。2018年 第5号「みはまデイズ」発行：愛知県美浜町



INTERVIEW

Maranic

丹内心悟さん / 森川美保さん

Chita Fruit village

大崎秀樹さん

特集：美浜まるごと体験マップ



# Maranic

「走って味わう、カラダで感じる美浜時間。」



忙しい毎日にちょっと疲れたら  
家族や友だちとのんびり過ごして  
心も体もリセットできる場所へ。  
潮風を感じて、大地の匂いを嗅いで  
移ろう季節とともに、  
さあ、美浜で遊ぼう。



丹内 心悟さん (半田市在住)

日本福祉大学 社会福祉学部 非常勤講師  
音吉を愛する走る仲間会代表

森川 美保さん (布土在住)

季の野の台所 代表  
音吉を愛する走る仲間会副代表兼事務局

## マラニックって何？

丹内) 出身は釜石市です。僕が母の出身の釜石市でトライアスロンを始めたのは17歳の時でした。今は日本福祉大学で社会福祉学部の非常勤講師をされていて、2011年の東日本大震災の年から釜石のトライアスロン大会復活など、スポーツ振興などにも関わって来ました。釜石のトライアスロンと音吉トライアスロンはよく似ていて、海沿いで手作りの大会、僕たちトライアスリートは、伊良湖大会、蒲郡大会、音吉(美浜)を3大会と言っていたのですが、音吉大会が数年前になくなってしまって、何とかもう一度トライアスロンのような企画をしたいと思って、いきなりトライアスロンは無理でも、まずは走ることから始めようとして「音吉を愛する走る仲間会」を立ち上げました。マラニックは、マラソンとピクニックを掛け合わせた造語です。ストイックなランニングやトレイルランとは違い、地域

の景色を楽しみながら、美味しいものを食べてのんびり走るといって、美浜の風土に合わせた、ゆったりとしたスポーツイベントです。今年で2回目ですが、口コミなどで遠方からも家族連れや年配の方など様々な世代のランナーがエントリーしてくれるようになりました。

## 季の野の台所から

森川) 屋号は「季の野の台所」といいます。私は結婚して常滑市からこちらに嫁いで来ましたが、隣町ですけれど県境を越えてきたような新鮮さがありました。農業を営みながら、都会の消費者の方々にここに来ていただいて、農業体験や教育ファーム、味噌作りや醤油作りなど、例えば、よもぎを摘んで天ぷらにするとか、田植えから稲刈りまで行ったり、暮らしと食に密着したことをしています。丹内さんと話しているうちに、私の農家としての今まで行って

きた「食育」の部分と「走ること」を掛け合わせると、いろいろな人に美浜の良さも知ってもらえるのではないかと思います。また、地元でずっと住んでいると、その土地の良さがなかなか気が付かないのですが、イベントを通じて都会の方々が来て「いいところだね」とか「おいしいものがいっぱいあるね」と評価してくれることで、改めて地域の人にも美浜町の良さを再認識してくれる機会になればと思っています。ここを走る人に美浜町の良さを知ってもらい、地元の人には地域に誇りを持ってもらうという両方のことを期待して始めました。

### マラニックが始まるまで

丹内) 1年目は歩いたり走ったりする愛好家の方に来てもらって、一人500円いただいて、森川さんのところでご飯を作ってもらって、ただ走って帰るだけでなく、おいしいものを食べながら、地域のごみを拾ったり、ルート整備をして、それを元に布土地区の走る人の参考になればと、マップを作成しました。

森川) 1年目にルート整備を行ったときに来てくれた方が今の「音言を愛する走る仲間の会」のメンバー

になってくれて、それぞれの得意分野でずっと支えてくださっています。

### 食へのこだわり

森川) 自分も農家として米や大豆を作って、味噌作り教室や醤油絞り体験をしているので、エイドの方も美浜町で作っている人や、地産食材を使っている人を中心にお願いしています。美浜町産のみかんから絞ったジュースや、海の塩を使ったソフトクリームも好評で、ランナーの疲れが少しでも少なくなればと、美浜産のお米を飲む点滴と言われる甘酒に加工してもらったり、ウチで仕込んだ味噌を練り込んだクッキーを焼いてもらったり、最初は軽めのもの、最後にお腹に届くものを持ってきたり、コース上で提供する順番にもこだわって、甘いものや辛いものを織り交ぜるなど、「食べること」「走ること」を楽しんで頂けるように色々工夫も凝らしています。それで、参加したランナーから「これ、おいしい！ありがとうございます」とたくさん言葉をかけてもらえて、エイドで協力してくれたみなさんと食へのこだわりを共有してもらえたことが嬉しかったです。元気に走る人たちだからこそ、食べることを大切にしたい大

会にしたいとの思いで計画しました。

### スポーツでつながる

森川) 一番最初のコース整備の時に「自分たちは走るだけで楽しいのに、おいしい野菜やご飯を食べさせてもらえるなんてうれしくて」と言われて。農家の私としては、走ってもらって、草も刈ってもらって、こんなお昼ご飯を出すだけで申し訳ないというところがあるのですが、ただ走る人にとってはそういう価値観があるということを知ったので、来年はまた原点に戻りつつ、美味しいものを沢山用意して大会の運営にも生かしたいと思っています。丹内) スポーツを通じて人と人とつながり合うコミュニティができればいいなと思います。マラニックなどを通じて交流人口を増やすことで、人の顔が見えるようなスポーツツーリズムを創りたいと勝手に夢見ています。



## Good Food



### 塩キャラメル芋けんぴ

500円(税別) / 風と土(食と健康の館)  
食べたらずみつき間違いなし。美浜の塩を使った手づくり芋けんぴです。



### マドレーヌ

1個 149円(税別) / セルブ・アゼーリア  
しっとり生地のマドレーヌ。抹茶、チョコ、トマト、レモン、紅茶味があります。



### ウーボン

小袋 180円(税別) / ジョイフルファーム鶏の池  
美浜産のうるち米と塩、自家製サトウキビ汁の素朴な味付けで、子どもに大人気。



### 押し寿司

650円(税別) / ジョイフルファーム鶏の池  
彩り鮮やか、目にも美味しい特製の押し寿司。懐かしいおふくろの味がします。



### 恋美豚カツサンド

750円(税別) / どんかつ喜太条  
SPF三元豚を使った極厚ジューシーなカツサンドを持ってピクニックはいかが？



### 河豚

8000円~(税別) / 町内旅館にて  
美浜の冬の味覚、透き通るように美しいっさや、ふく鍋も楽しめます。

## みはまBooks

特集「美浜の冬を満喫する本」

美浜暮らしをもっと楽しむための本をリレー形式でおすすめします。ご紹介する本は全て美浜町図書館で借りられます！



### 『今夜、流れ星を見るために』

星空さんぼ編集部  
誠文堂新光社

流星群がみられる特別な夜でなくても、流れ星は1時間に4・5個ながれていることを知っていますか？15分に1個って言われると少しだけ身近になりますよね。私はこの本を読んで、美浜町ではせっかく星がきれいにみえるのに日ごろなかなか星をみる機会ってなかったなというのに気が付きました。冬はよりいっそう星がきれいにみえるので、美浜町で過ごす冬におすすめしたい一冊です。

(オススメ人: 健康・子育て課 森部)



### 『ときめく貝殻図鑑』

監修: 池田等 文: 寺本沙也加  
写真: 大作晃一 山と深谷社

貝への想いを「呪い」と表現した作者が描く貝の素晴らしさがその文章から伝わってきます。貝殻の写真とともに、その特徴や名前などのストーリー、生息地や分布データを見ることが出来ます。これから、貝殻の採集に最適な季節「冬」がやってきます。この本を片手に、美浜町の浜辺に打ち上げられるきれいな貝を探る「宝探し」をしてみませんか？

(オススメ人: 秘書課 鈴木)



### 『今夜はこの鍋で決まり!』

藤野嘉子 / ほか著  
家の光協会

お鍋が食べなくなる季節がやってきました。この本では、定番の鍋からちょっとかわったごちそう鍋まで、見てのだけで食べなくなる鍋がたくさん紹介されています。白菜にねぎ、にんじん、春菊、大根など…美浜町では、おいしい冬の野菜が安く手に入るお店がいっぱい！さあ今夜は、どの鍋にする？

(オススメ人: 生涯学習課 半澤)



### 『あたらしいみかんのむきかた2』

作: 岡田好弘 絵/文: 神谷圭介  
小学館

みかんの皮に掲載図のとおりに入れ目を、動物の形になる工作絵本です。イルカ、うさぎ、えび、ティラノサウルスなど21作品の作り方を紹介しており、みかんの皮をむくのが楽しくなります。これから冬のみかんの季節、家族そろって「こたつ」で楽しく作品を作ってみませんか。

(オススメ人: 企画課 森田)



「ちゃんと美味しい、ちょっと楽しい」



大崎 秀樹さん

株式会社 萬寿フルーツ  
代表取締役

愛知県知多郡美浜町奥田石坂平井 130-3  
営業日時：金・土・日曜日 10:00～17:00  
定休日：月～木曜日  
お問合せ：0569-87-5088

ちたフルーツビレッジでは、115アール（約3500坪）の温室を利用してグレープフルーツ等を栽培しています。自家製の堆肥を使い、土壌にもこだわっています。果物の販売だけではなく、ブルーベリーなどの収穫の体験、企業や個人の方にグレープフルーツやバナナの木のオーナーになっていただいて、ご自分の木から収穫した果物を届けたり収穫体験をしてもらったり、果樹の「オーナー制度」も始めました。

## 大人がワクワクする農園を

知多半島道路を下り、美浜 IC を降りて少し離れた所に私の農園があります。一本内側の通りなので外からは全く分らず、知る人ぞ知るという感じです。中に入ると小さなログハウスと無数の温室が立ち並び、はじめて来られるお客様には「広い！」と驚かれます。この温室の中では国産のグレープフルーツや国産のブラッドオレンジ、果実が 500 円玉くらいの大きさのブルーベリー、そしてちょっと珍しい所では国産バナナなど栽培しており、これらを生産販売だけでなく、自分の手で収穫する「果物狩り」や「オーナー制度」などを提供しています。

グレープフルーツは輸入がほぼ 100%なので、みんな実ってる様子を見たことがないはず。グレープフルーツの実がたわわになっているその姿が葡萄の房みたいに見えるのですが、それで「グレープフルーツ」という名前と呼ばれるようになったと

言われています。そんな様子を実際に見ていただき、果実を自分の手で採れたら楽しさだらうなって思って始めました。バナナも同じく、スーパーやコンビニでは、バラバラに切り離された状態で販売されていますが、実際に実っている様子は日本だと沖縄くらいでしか見ることができないと思います。沢山ある房を株ごと切り倒して持って帰ってもらいたい、東南アジアの現地に来てしまったような体験をしてもらいたいです。なので、ちょっと珍しくて面白いモノを中心に、お子さんも楽しいけどそれ以上に大人の私たちも含めて「面白い！」と感じて頂ける大人がワクワクする農園というのをコンセプトにして取り組んでいます。また、最近は果物販売だけでなく、柑橘類 20 種食べ比べや自分で作る丸搾りジュースのような体験メニューもはじめました。丸搾りは皮を残して中身だけジュースにするという特殊なマシンを使っているので、写真映えてお客さんにも好評です。

## ここまでは苦労の連続？

今は観光農園的なことをやっていますが、もともとは数年前まで美浜町特産のハウスみかん栽培農家でした。地域の中でも大規模にやっていたのですが、植え替えた苗木にウイルス病が入っていて、これが農業かけても治らない、かつ土壌で広がるといっても厄介な病気でハウスみかんができなくなってしまったのです。それで植え替えを余儀なくされたのですが、その時に目を付けたのが、当時日本でもほとんどだれもやっていなかったグレープフルーツ栽培でした。苗木を探して植付け、育てること 4 年ようやく実がついて食べてみると、慣れ親しんだグレープフルーツの味ではなく、レモンより酸っぱい…。今でこそそれは「ダンカン」というグレープフルーツの原種に近い品種と分かるのですが、当時は苗木屋さんそんなことは知らずに、ただ「グレープフルーツ苗」として販売してたのです。結局その時の品種はほとんど売り物になりませんでした。

そんな中で、いろいろ苗木を買って試すうちにルビーとかピンクとかみんながよく食べるような品種も出てきてようやく一安心したのを覚えています。だんだん分かってきたこともあって、一番大きい温

室にルビーを 300 本植えて、4 年たって収穫して試してみると全然美味しくない。横の樹も、そのまた横の樹も…なんと 300 本全部違う品種だったみたいで、植え替えるとまた 4 年かかる…とても悩みました。悪いことは重なるもので「グレープフルーツはウイルス病を保持しても発症しない」と文献に書いてあったので、グレープフルーツを選んで植えたのですが、しっかり発症したのです。

それでグレープフルーツがダメなら柑橘類は全部ダメだと、思い切ってそこからはじめたのがブルーベリーです。ブルーベリーは絶対にうつらないのですが、これまでの経験で、怖くなってしまったのと新しいやり方を模索した結果、水耕ポット栽培にしました。最近のブルーベリーは葡萄のシャインマスカットみたいに強烈な品種が出てきますね。全て最新品種で揃えて植えました。ただ、ブルーベリーも収穫できるようになって、実際に売るまで 3 年かかってしまうので、効率が悪く、収穫まで時間がかかるものばかりだとこちらが飢え死にしてしまうので、「1 年で出来るモノもやろう！」と考えて、はじめたのがバナナです。グレープフルーツの生産販売農家を目指してたのに観光農園をはじめたり「あいつは色々とはばかり出して」と当時は周りからも言

われましたが、今となっては農園で収穫できるフルーツのパラエティーも豊かになって、お客さんにも楽しい体験を提供できるようになったので結果オーライという感じです。

## 農園のこれから

南知多エリアは、昔に比べるとちょっと元気ないと感じています。この辺りはやはり観光地なんですよ。大きな施設や観光スポットがひとつあったとして、そこに行って終わりではなく、知多半島をドライブしながら色々な所をぐるっと回って帰りたいな周遊型の特徴があると思います。うちの農園もその中の一つとしての役割を果たしていくというのが大事なと思っています。一個だけでは存在しないし、それぞれの施設が滞在時間に応じた顧客満足を提供して、その中の選択肢で「ちょっとちたフルーツビレッジもよってごうか…」というような感じになればと思っています。さらに美浜町も含めて知多半島に来たお客さんの満足が高くなって、「また来年も知多に行こうね。」というような良い循環に繋がるといいですね。



# MIHAMA ACTIVITY MAP



中部国際空港まで車で25分、  
名古屋駅まで電車で50分、  
車で知多半島道路を使って40分

## 1 えびせんべい焼き体験



焼きあがったえびせんべいは、直径約30センチの大きさで、ソースやしょうゆで絵を描いて自分だけのえびせんべいが作れます。

えびせんべいの里 美浜本店  
愛知県知多郡美浜町大字北方字吉田流 52-1  
電話：0569-82-0248  
料金：一枚 300円  
※ 木・金曜は休み

## 4 家族で地引網体験 親子投げ釣り教室



豊かな自然環境を活かしたアクティビティプログラムが盛りだくさん。地引網や釣り教室など家族で参加し、絆を深めてみては。

愛知県美浜少年自然の家  
愛知県知多郡美浜町大字小野浦字宮後 1-1  
電話：0569-88-5577

## 7 みはまスポーツクラブ



ファミリーでゴルフやお子様向けの運動教室を始め、人気の各種ヨガ教室などお手軽に楽しめます。

みはまスポーツクラブ事務局  
(美浜町総合公園体育館内)  
愛知県知多郡美浜町大字北方字十二谷 1-2  
電話：0569-82-5200  
料金：各教室ごとに異なります。

## 自然観察会



海や川の生き物の観察をして、自然に親しみ、身近な自然の大切さを見つけます。

美浜自然観察会 (役場環境課内)  
愛知県知多郡美浜町大字河和字北田面 106  
電話：0569-82-1111  
料金：50円 (保険料)

## 2 塩づくり体験 とんぼ玉アクセサリー作り



塩ができるまでを学習し、かん水から「美浜の塩」をつくる体験や、トンボ玉を組み合わせて思いのアクセサリーを作ることができます。

食と健康の館  
愛知県知多郡美浜町大字小野浦字西川 1  
電話：0569-83-3600  
料金：塩づくり体験 500円/釜  
とんぼ玉アクセサリー作り 500円

## 5 里山体験



里山の手入れや、自然観察ハイキングなど自然の中での活動や、アウトドアの魅力を体験できます。

美浜里山クラブ (役場環境課内)  
電話：0569-82-1111  
年会費：大人 2,000円 小学生 1,500円  
※各回ごとの参加も可能 (参加費別途)

## 8 教育ファーム



プロの農業者の指導を受けながら、作物を育て食べるまで一貫して体験し、自然の力や生産者の知恵や苦労、喜びを学びます。

季の野の台所  
愛知県知多郡美浜町大字布土字豆池 23  
電話：0569-82-1931

## 農業体験



野菜の収穫、田植えや稲刈りといった週末農業ができます。また、年数回イベントとしてグリーンツーリズムを実施しています。

美浜町都市農村交流協議会役場 (産業課内)  
電話：0569-82-1111

## 3 フルーツ狩り・いも掘り



みかん・いちご・ブルーベリーなどのフルーツ狩りのほか、さつまいも掘りや里芋掘りが楽しめます。

ジョイフルファーム鶴の池、他各地  
愛知県知多郡美浜町大字上野間字中新田 10  
電話：0569-87-6080

## 6 陶芸体験 宙吹きガラス体験



電動ロクロでお茶碗や湯呑みの制作や、吹きガラスのぼぼすべての工程を体験してオリジナルのコップが作れます。

制作スタジオ ユクリテ  
愛知県知多郡美浜町大字奥田字御茶銭 71-7  
電話 0569-77-0184  
料金：陶芸体験 3,500円～  
吹きガラス体験 3,000円～

## 9 野外劇場



舞台を囲む音響板は陶芸作品でもあり、美浜町在住の陶芸家夫妻と多数のボランティアの手により制作された野外劇場です。コンサートやイベントが行われています。

山の広場  
愛知県知多郡美浜町大字布土字菅苅 108-1  
電話：0569-87-5020

## オレンジラインハイキングコース



名鉄河和口駅から知多奥田駅までの全長11.1キロのハイキングコース。春は桜、秋は紅葉のトンネルが楽しめます。

美浜町観光協会  
電話：0569-83-6660